



7月27日、市役所で令和8年度第1回市長とGO郷トークが開催されました。初回は市内の3団体（JC・YEG・法青会）から計16人が参加。最初に市長が市政の現状について説明を行った後に、3つのトークテーマに沿って意見交換が行われました。各団体からは様々な意見が出され、今後の市政運営に向けて、有意義な意見交換となりました。

第1回目の GO郷トークを開催

市長と GO郷トーク

市では市民の皆さんの市政への理解を深めていただくとともに、市民の声を生かしたまちづくりを推進するために「市長とGO郷トーク」を開始しました。

岡市秘書広報課 TEL 0994-31-1122
FAX 0994-43-6821



あなたの声が、 まちの未来をつくる。

●参加者

- ・鹿屋青年会議所（JC）
- ・鹿屋商工会議所青年部（YEG）
- ・鹿屋肝属法人会青年部会（法青会）

●トークテーマ

- ①鹿屋市の人口減少と今後の対策
- ②文化財等の観光への活用
- ③スポーツ振興
（野里運動公園サッカー場の活用）



こんなことが、 話し合われました。

①鹿屋市の人口減少と今後の対策

- ・例えば別府市は、観光資源や学びの拠点など“強み”が分かりやすく、鹿屋も「武器（＝強み）」の明確化が必要。
- ・県外企業が家賃・交通費等を負担するケースがあり、鹿屋でも行政から移住者・就職企業への支援制度の拡充を望む。
- ・不妊治療や晩婚化など背景は複合的。治療負担軽減や出会い・結婚支援の後押しも必要。

②文化財等の観光への活用

- ・鹿屋航空基地史料館は教育的価値が高く、学校教育・平和学習と観光の両面で発信を強めてほしい。
- ・歴史的建造物・文化財が十分に活用されないまま失われることが懸念。保存・改修による活用を期待。
- ・大隅地域は戦跡・古墳など歴史資源が多く、広域での周遊ルート造成や連携強化を求める。

③スポーツ振興 （野里運動公園サッカー場の活用）

- ・整備されたサッカー場は利用が多く、交流人口拡大に効果。複数面整備や周辺環境の改善を望む。
- ・合宿・大会誘致は経済波及が期待できるが、宿泊受け入れ等も含めた環境整備が課題。
- ・合宿地としてのブランディングには長期視点の計画が必要。利用者（選手・指導者）の意見反映も重要。



▲専用フォーム



▲市ホームページ

今年度から市長が市政の現状を説明し、市民の皆さんと意見交換を行う「市長とGO郷トーク」をスタートさせました。

市政に対する理解をより深めていただくとともに、多くの市民の皆さんの声を生かしたまちづくりを推進し、市民の皆さんの主体的な市政参画や行政との協働を促進するために実施するものです。

トークテーマはまちづくりや子育て、教育、福祉など、参加される皆さんが話したい内容を自由に設定できます。今年度は5回程度、次年度以降は年10回程度開催を予定しています。

あなたが市政に関して思っていることを市長と直接意見交換してみませんか。皆さんの応募をぜひお待ちしております。

市民の皆さんとの
意見交換の場を設置

●対象者 概ね5人以上で構成された市内の各種団体など（上限30人程度）

●内 容 ○市政の現状に関する説明＝約20分
○意見交換・質疑応答＝約40分

●申 込 参加申込書を提出又は専用フォームから申し込み

※日時、場所、テーマは参加団体と調整して決定



未来のまちづくり
のアイデア



子育て・教育・
福祉のこと



暮らしやすい環境
・交通のこと



まちのにぎわい
魅力づくり